

県南民商第50回定期総会を開催

民商の新たな発展を知恵と団結で築こう



県南民商の、今年の総会はちょうど50周年を迎えました。7月12日、藤代公民館で開催されました。1977年の創立以来、民商は一貫して中小事業者の商売とくらし、権利を守る運動をすすめてきました。

総会開会にあたり、この1年間に亡くなった3人の方に全員で黙祷をささげ、議事がすすめられました。副会長の代表あいさつに続いて、この一年間の運動の総括と新方針・予算案が提案され、討論へと続きました。

討論では5人の方が発言。竹林協同組合を設立し、竹のチップなどを肥料にする取り組みを紹介。

NHK茨城でもこの取り組みが取り上げられた様子が報告されました。また、原材料の高騰で利益が圧迫し元請の問屋に対して、単価の値上げを申し入れた経験。外国人留学生を抱える地元の大学で、週2回の日本語教室を開いて日本語の理解を促す取り組みをすすめていることなどが報告されました。

総会は、報告と新方針などを全会で採択し、新役員を選出しました。新会長には成島秀征氏が出選され、他の新役員とともに推薦承認されました。

また、総会前には民商共済会40回総会が開かれ、新方針を採択するとともに共済会新理事長には、新藤保男氏が再選されました。

共済会規約の改正

■ 入会後の入院の免責期間がこれまでの6カ月から3カ月に短縮

■ 入院3日目からの給付が2日目からの支払へ

熊本地震災害 支援募金にご 協力ください

7月13日、つくばみらい市・守谷市を進行して取手市に到着。取手市長からのあいさつ代読に続き、市教育長の石塚氏からの歓迎あいさつがありました。実行委員会からはこれから取り付ける「ペナント」は広島・長崎まで届けられること、そして、このペナントは広島・長崎に飾られた「折り鶴」からつくられていることなどが紹介されました。

民商会員も多数被災

7月28日に起きた熊本地方を震源とする地震は、宇城市と氷川町で震度7、熊本市・八代市・宇土市等で震度6の揺れが観測されました。

熊本県連によると、宇城市と八代民商を管轄する両民商の地域では、断水と停電による被害が大きく、修理や片付けの依頼が集中している模様です。全商連は災害支援募金を呼びかけています。

原水爆禁止 国民平和大行進 取手市・歓迎集会 2026



「みんなしょう学校」開きます

- 9月13日（日）10時～5時
- レイクサイド つくば 於
- 主催 茨商連

民商共済会へ加入を

- 会員・配偶者は無条件加入
- 入院の免責期間は3カ月に
- 入院給付は入院2日目から

労働保険・中建国保は民商へ

- 労災保険や雇用保険に加入を
- 中建国保は建設関係事業者が加入
- ひとり親方の労災保険も加入 OK